

## 普及促進委員会 活動概要

普及促進委員会 委員長 坊垣 和明（東京都市大学）

### 2. 5. 1 普及促進委員会の目的と活動方針

#### 1. 普及促進委員会の目的

各部会の調査研究活動および成果の広報等の効率的な実施を支援することを目的とする。

#### 2. 活動内容と方法

##### (1) 成果の普及・広報

普及のためのシンポジウムや講演会の開催、メディアへの広報と支援を行う。

##### (2) 調査・研究活動の支援

複数の部会に共通する調査・研究活動を統括・支援するなどの活動を行う。

##### (3) コンソーシアムの運営支援

産学官の連携による研究の効果的な推進のため、コンソーシアムの運営を支援する。

### 2. 5. 2 活動の概要

#### 1. 成果の普及・広報

##### (1) シンポジウムの開催

###### ■第6回健康維持増進住宅シンポジウム

###### －最新の研究成果と健康住宅ガイドブックの開発－

概要：各部会における最新成果トピックとガイドブックの紹介を行った

日時：2012年2月17日（金）13:30~16:30

場所：すまい・るホール（住宅金融支援機構）東京都文京区

プログラム：

- I あいさつ 川本正一郎（国土交通省住宅局長）、委員長 村上周三
- II 基調講演 住宅の低炭素化と健康評価 村上周三（(独)建築研究所理事長）
- III 研究成果報告（1）
  - 1) 健康に暮らす住まい 9つのキーワード  
－健康維持増進住宅ガイドブックの概要－ 小泉雅生（首都大学東京教授）
  - 2) CASBEE健康チェックリスト 清家剛（東京大学大学院准教授）
- IV 研究成果報告（2）
  - 1) 健康影響低減に向けた環境づくり 吉野博（東北大学大学院教授）
  - 2) 住宅満足度がストレスと腰痛／肩こりに与える影響  
田辺 新一（早稲田大学教授）
  - 3) 健康コミュニティチェックリストの開発 伊香賀俊治（慶應義塾大学教授）
- VI 質疑・まとめ 坊垣和明（東京都市大学教授）

参加者：235名（一般192名、関係者43名）

##### (2) 各種集会での成果発表

###### ■住宅生産団体連合会での報告

概要：当委員会の活動概要と健康住宅ガイドブックの紹介

日時：平成23年11月28日 13:00~14:00

場所：住宅生産団体連合会 会議室

発表者：委員会活動の概要 坊垣 和明 (普及促進委員会委員長)  
健康住宅ガイドブックの開発 小泉 雅生 (設計部会主査)

参加者：約30名

#### ■CP (コミュニケーションプラザ、(財)住宅産業研修財団)における発表

テーマ：「健康を増進させる住まい」

概要：委員会における最新成果の紹介と健康な住まい作り推進についての意見交換

日時：平成23年11月28日 13:30~17:00

場所：(財)住宅産業研修財団 研修室

発表者：「なぜ、今、住まいの健康か」 坊垣 和明 (普及促進委員会委員長)  
「健康の経済価値評価」 伊香賀俊治 (コミュニティー部会 主査)  
「寿命を伸ばす住まい~医学的見地から~」  
星 且二 (健康維持増進住宅研究委員会委員、首都大学東京教授)

「住まいの健康性評価」 清家 剛 (設計部会 幹事)

参加者：約50名

#### ■住宅生産団体連合会 特別講演会

テーマ：「住宅と健康」

概要：住宅メーカー幹部を対象に住宅と健康に掛かる最新トピックの紹介

日時：平成24年1月31日 15:45~16:45

場所：ホテルグランドヒル市ヶ谷

発表者：村上 周三 (建築研究所理事長)

発表内容： 1. 住宅と健康ー断熱がもたらす健康増進ー  
2. 健康維持増進住宅ガイドブック紹介  
3. CSABEE 健康チェックリストの概要

参加者：130名

## 2. 調査・研究活動の支援

### 研究発表

日本建築学会大会(東京)において、各部会から合計13編の研究が発表された。

## 3. コンソーシアムの運営支援

産学官の合同による健康維持増進住宅研究コンソーシアム(会長:村上周三<建築研究所>、副会長:吉野博<東北大学大学院>、秋山一美<大和ハウス工業株>、平林文明<積水ハウス株>)の運営を支援、現在18社(部会参加16社、情報提供のみ2社)が参加。

その一環として、民間のニーズや意見を集約し、研究活動に反映するための業務報告会を開催(2回)した。